

利根川源流探検

矢木沢ダム・奈良俣ダム・藤原ダム見学会



坂東太郎”と呼ばれる利根川は、群馬県の大水上山を源流として、関東山地・平野のほぼ全体を流域とする、流域面積で日本最大の一級河川です。利根川流域で集められる水は、関東1都6県の重要な水道水源であることはもちろん、農業用水・工業用水としても使われ、我が国の産業を支える重要な資源です。こうした“恵み”を与えてくれる坂東太郎ですが、明治43年や、戦後のカスリーン台風時には、堤防を決壊させて広大に氾濫することで、大きな“災い”をもたらしてきました。

こうした“災い”を抑えて“恵み”を享受するために堤防やダムが建設・活用されています。そのなかでも大きな役割を果たしているのが、群馬県みなかみ町等に位置する最上流部のダム群です。今回は、こうしたダムの雄姿をじかに見学し、その役割を再確認します。

下記のとおり実施しますので多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	6月22日(土)	7:30集合
集合場所	JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)	
参加費	1,000円(資料、交通費、保険料の一部として)	
募集人数	45名(先着順)	boumati_jyuku@yahoo.co.jp 携帯 080-4006-8819
行 程	7:30 出発(集合次第出発します)	
	11:30 矢木沢ダム 到着(見学・昼食※ご持参又は途中の休憩の際にご購入下さい。)	
	14:00 奈良俣ダム 到着	
	15:30 藤原ダム 到着	
	16:30 道の駅 水紀行館 到着(トイレ お土産購入 産直野菜等)	
	19:30 JR新小岩駅 東北広場 到着(道路状況等により流動的です。)	

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会・関東地域づくり協会

矢木沢ダム

矢木沢ダムは、利根川本川の最上流部に建設された多目的ダムで、堤頂高 131m のアーチ式コンクリートダムです。昭和 34 年に建設省（現国土交通省）が着手し、昭和 37 年の水資源開発公団（現水資源機構）の設立に伴い公団（現機構）に継承され、厳しい地理的、気象的条件を克服しつつ工事が進められ、昭和 42 年に完成しました。



奈良俣ダム

奈良俣ダムは、利根川支川檜俣川に建設された多目的ダムで、堤頂高 158m のロックフィルダムです。同時に檜俣川に隣接した湯ノ小屋沢川の水をダム貯水池に導くために、取水堰と導水トンネルを設けています。

昭和 49 年 4 月に調査所を開設し、昭和 56 年 1 月に本体発注を行い、厳しい気象条件を克服しつつ工事は進められ、平成 3 年に完成しました。

藤原ダム

利根川本川の上流で、水と緑の恵み豊かな自然に囲まれています。藤原ダムは、利根川に位置する重力式コンクリートダムで、藤原工事事務所（後に藤原ダム工事事務所に改名）により昭和27年から建設が始まり、昭和33年5月利根川上流ダム群のうち最初に竣工し、藤原ダム管理所により管理が開始され、その後、昭和39年4月相俣ダムとともに利根川ダム統合管理事務所の管理となりました。



新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

